

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
 コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 傳六

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 (氏名) 三宅 俊一

TEL 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,221,909	5.5	12,166	8.1	16,682	7.2	9,730	61.5
25年3月期第2四半期	1,157,776	1.0	11,254	198.7	15,560	88.3	6,025	54.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 9,039百万円 (32.8%) 25年3月期第2四半期 6,808百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	175.85	—
25年3月期第2四半期	117.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,112,772	290,389	26.1
25年3月期	1,189,241	283,956	23.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 290,166百万円 25年3月期 283,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	46.00	—	47.00	93.00
26年3月期	—	49.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	49.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,483,000	4.0	24,300	3.2	33,400	3.5	17,600	△15.3	318.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	58,754,400 株	25年3月期	58,754,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,417,934 株	25年3月期	3,416,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	55,336,853 株	25年3月期2Q	51,216,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、経済再生に向けた政策効果もあり、生産の持ち直しや企業収益の改善等、景気回復に向けて明るい兆しが見え始めました。しかしながら、新興国の景気減速や米国金融政策等の下振れ懸念があり、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このようななか当社グループでは、新たに「13-15中期経営計画 変革への挑戦～次なる頂（いただき）を目指して～」を策定し、健康に関するサービスを総合的に提供する「ヘルスケアコンソーシアムの実現」、「安心、安全、誠実の追求」、ならびに「人づくり」を基本方針として、「社会から信頼される企業グループを目指す」「新たな時代を拓く人財を育成する」「医療用医薬品卸売事業の次なるステージを目指す」「事業間連携・企業間連携の推進によりグループシナジーを追求する」「健康・医療関連事業への進出をはかる」の5つの主要な経営テーマへの取り組みに着手いたしました。

その初年度である本年4月には、ベトナム国内の医療関連製品卸売界最大手であるCONG TY TNHH MTV DUOC PHAM TRUNG UONG 2(Codupha)との間で、同国において医療機器・医療材料を中心としたヘルスケア関連製品の輸入・販売を行うことを目的とした合弁会社Alfresa Codupha Healthcare Vietnam Co., Ltd.（アルフレッサ コドゥファヘルスケア ベトナム 所在地：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 当社出資比率70%）を設立することを決定し、設立に向けた準備を進めてまいりました。

また近年わが国では、希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の試験研究を促進するための特別な支援措置が施行されております。この施策を受けて、製薬会社各社は新製品の開発を促進しており、今後多くの製品が発売されると予測されます。このような状況に対応するため、アルフレッサ株式会社が希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の流通を行うことを目的としたエス・エム・ディ株式会社（本社：東京都千代田区 出資比率100%）を本年6月に設立いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は1兆2,219億9百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は121億66百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益は166億82百万円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は97億30百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

各セグメントの業績については、次のとおりであります。

[医療用医薬品等卸売事業]

医療用医薬品市場におきましては、生活習慣病薬をはじめとする新製品や長期処方解禁品目が順調に推移したこと等により、2.7%の伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）となりました。

このようななか当社グループは、厚生労働省の「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会（流改懇）」の流通改善第3ラウンドの2年目として、「経済合理性に立った取引」、「単品単価取引の励行」、「価格未妥結・仮納入の改善」に積極的に取り組むとともに、引き続きお客様へのサービス向上と業務効率化に努めました。また、アルフレッサ株式会社では、最新かつ正確な医薬品安全管理情報等をお客様や製薬会社各社により確実にスピーディーに提供するために、タブレット型端末を全支店に導入して、営業機能の高度化を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、常盤薬品株式会社（本社：山口県宇部市）が昨年10月に連結子会社となった影響等により、売上高は1兆1,108億72百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は、112億68百万円（前年同期比9.7%減）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高22百万円（前年同期比34.3%減）を含んでおります。

[セルフメディケーション卸売事業]

セルフメディケーション卸売事業におきましては、継続して利益改善の推進・強化や物流の効率化および業務改革を行い、事業基盤の確立に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,028億49百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は20百万円（前年同期は営業損失18億92百万円）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高2億95百万円（前年同期比29.4%増）を含んでおります。

[医薬品等製造事業]

医薬品等製造事業におきましては、アルフレッサ ファーマ株式会社岡山製薬工場における受託製造が伸長しております。また、新たな迅速診断キット製品の開発や既存製品の改良、および個別化医療にも貢献できる付加価値の高い診断薬製品（コンパニオン診断薬等）の開発を目的として、茨木リサーチセンター（大阪府茨木市）の建て替えを進めてまいりましたが、本年6月に竣工し、稼働いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は129億79百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は7億76百万円（前年同期比60.7%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高44億73百万円（前年同期比3.5%増）を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して以下のとおりであります。

[資産の部]

総資産は、1兆1,127億72百万円となり、前連結会計年度末より764億68百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」の減少596億72百万円や、「商品及び製品」の減少150億30百万円があったことによるものです。

[負債の部]

負債は、8,223億83百万円となり、前連結会計年度末より829億1百万円減少いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」の減少636億21百万円や、「未払法人税等」の減少143億76百万円によるものです。

[純資産の部]

純資産は、2,903億89百万円となり、前連結会計年度末より64億33百万円増加いたしました。これは主に「利益剰余金」の増加71億6百万円によるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して662億48百万円減少し、1,297億48百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、減少した資金は544億47百万円（前年同期は194億10百万円の増加）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益162億51百万円および減価償却費43億1百万円があったものの、一方で仕入債務の減少額636億21百万円、法人税等の支払額187億82百万円があったことによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、減少した資金は、75億71百万円（前年同期は31億20百万円の増加）となりました。これは主として、関西エリアの物流拠点再構築をはじめ有形固定資産の取得による支出60億83百万円があったことによるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、減少した資金は42億72百万円（前年同期比3億45百万円増）となりました。これは主として、配当金の支払額26億円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本年5月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,093	86,420
受取手形及び売掛金	563,458	572,456
有価証券	67,007	60,494
商品及び製品	134,843	119,813
仕掛品	457	616
原材料及び貯蔵品	1,647	1,818
その他	67,431	61,781
貸倒引当金	△483	△420
流動資産合計	980,456	902,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,362	33,730
土地	50,704	50,971
その他（純額）	11,296	14,892
有形固定資産合計	96,362	99,594
無形固定資産		
のれん	4,862	4,292
その他	6,087	5,760
無形固定資産合計	10,950	10,052
投資その他の資産		
投資有価証券	85,258	84,878
その他	20,548	19,773
貸倒引当金	△4,335	△4,506
投資その他の資産合計	101,472	100,145
固定資産合計	208,785	209,792
資産合計	1,189,241	1,112,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	821,663	758,041
短期借入金	880	880
未払法人税等	19,276	4,900
賞与引当金	6,818	6,179
その他	15,901	13,047
流動負債合計	864,539	783,048
固定負債		
長期借入金	1,484	1,044
退職給付引当金	17,399	17,366
その他	21,861	20,923
固定負債合計	40,745	39,334
負債合計	905,284	822,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,109	100,109
利益剰余金	139,848	146,954
自己株式	△1,178	△1,183
株主資本合計	257,233	264,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,004	30,206
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	△4,490	△4,466
為替換算調整勘定	9	91
その他の包括利益累計額合計	26,523	25,831
少数株主持分	198	223
純資産合計	283,956	290,389
負債純資産合計	1,189,241	1,112,772

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,157,776	1,221,909
売上原価	1,078,997	1,142,495
返品調整引当金戻入額	687	785
返品調整引当金繰入額	709	653
売上総利益	78,758	79,546
販売費及び一般管理費	67,503	67,379
営業利益	11,254	12,166
営業外収益		
受取利息及び配当金	904	1,024
受取情報料	2,776	2,927
その他	885	916
営業外収益合計	4,566	4,868
営業外費用		
支払利息	75	74
貸倒引当金繰入額	—	16
持分法による投資損失	76	111
不動産賃貸費用	50	58
その他	58	91
営業外費用合計	260	352
経常利益	15,560	16,682
特別利益		
固定資産売却益	66	1
投資有価証券売却益	48	109
受取和解金	—	175
受取補償金	—	66
特別利益合計	114	352
特別損失		
固定資産売却損	486	44
固定資産除却損	140	165
減損損失	572	423
のれん償却額	779	—
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	40	1
特別退職金	689	48
事業構造改革費用	31	—
その他	—	97
特別損失合計	2,740	783
税金等調整前四半期純利益	12,933	16,251
法人税、住民税及び事業税	7,690	4,705
法人税等調整額	△966	1,790
法人税等合計	6,723	6,495
少数株主損益調整前四半期純利益	6,210	9,755
少数株主利益	184	24
四半期純利益	6,025	9,730

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主利益	184	24
少数株主損益調整前四半期純利益	6,210	9,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	590	△798
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	8	82
その他の包括利益合計	598	△715
四半期包括利益	6,808	9,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,623	9,014
少数株主に係る四半期包括利益	185	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,933	16,251
減価償却費	4,276	4,301
減損損失	572	423
のれん償却額	1,412	570
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△448	107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	580	△638
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77	△114
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△84
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	824	△32
受取利息及び受取配当金	△904	△1,024
支払利息	75	74
固定資産売却損益 (△は益)	420	42
固定資産除却損	140	165
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48	△106
投資有価証券評価損益 (△は益)	40	1
受取和解金	—	△175
受取補償金	—	△66
特別退職金	689	48
事業構造改革費用	31	—
売上債権の増減額 (△は増加)	19,038	△9,112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△940	14,700
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,098	△63,621
その他	12,616	1,508
小計	20,131	△36,781
利息及び配当金の受取額	954	1,024
利息の支払額	△83	△79
受取和解金の受取額	—	175
特別退職金の支払額	△148	△3
事業構造改革費用の支払額	△53	—
災害による損失の支払額	△9	—
法人税等の支払額	△1,381	△18,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,410	△54,447

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△162	△229
定期預金の払戻による収入	145	206
有価証券の売却による収入	5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,378	△6,083
有形固定資産の売却による収入	932	60
無形固定資産の取得による支出	△657	△711
長期前払費用の取得による支出	△5	△10
投資有価証券の取得による支出	△249	△1,176
投資有価証券の売却による収入	455	294
貸付けによる支出	△132	△61
貸付金の回収による収入	174	140
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,120	△7,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△440	△440
リース債務の返済による支出	△1,150	△1,226
自己株式の取得による支出	△4	△5
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,304	△2,600
少数株主への配当金の支払額	△28	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,927	△4,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,607	△66,248
現金及び現金同等物の期首残高	123,569	195,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	142,177	129,748

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,045,988	103,092	8,695	1,157,776	—	1,157,776
セグメント間の内部売上高 または振替高	34	228	4,323	4,587	△4,587	—
計	1,046,023	103,320	13,019	1,162,364	△4,587	1,157,776
セグメント利益または損失(△)	12,484	△1,892	483	11,075	178	11,254

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額178百万円には、セグメント間取引消去3,290百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,111百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,110,849	102,554	8,505	1,221,909	—	1,221,909
セグメント間の内部売上高 または振替高	22	295	4,473	4,792	△4,792	—
計	1,110,872	102,849	12,979	1,226,701	△4,792	1,221,909
セグメント利益	11,268	20	776	12,065	101	12,166

(注) 1. セグメント利益の調整額101百万円には、セグメント間取引消去3,001百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,900百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。